

F2-27

「八千代台フォトコンテスト」からみる近郊都市の地域景観資源に関する研究
—応募写真分析を通じて—

A Study on in a Suburban City Through a Photo Contest
-An Analysis of Submitted Photographs-

○山本拓叶¹, 岡田智秀², 栗本賢一², 常松美咲³, 高木孝太郎¹, 若菜新世¹

*Takuto Yamamoto¹, Tomohide Okada², Kenichi Kurimoto², Misaki Tsunematsu¹, Kotaro Takagi¹, Shinse Wakana

Abstract : The purpose of this paper is to clarify valued regional resources in a suburban city by analyzing a community photo contest. As a result, it reveals these are not landmarks, but the ordinary landscapes of daily life.

1. 研究目的 ; 千葉県八千代市八千代台地区は、日本初の戸建て住宅団地として知られるように、いわゆる近郊都市（ベッドタウン）として歩み、現在は地域再生が課題となっている。持続可能なまちづくりには、住民が愛着を感じる地域景観資源の発見が重要となる。しかし、著名な観光地ではない、いわゆる「特徴を見出しにくい普通のまち」における地域景観資源については十分に解明されていない。そこで本稿では、八千代台地区で評価される地域景観資源を発掘するため、住民の視点が直接反映される「八千代台フォトコンテスト」の応募写真を分析対象とし、当地区で評価される地域景観資源の具体的な内容とその空間的分布を明らかにする。

2. 研究方法 ; 本稿では、「八千代台フォトコンテスト」全5年間の応募写真から八千代台地区の地域景観資源を明らかにするため、表1に示す調査を実施した。

3. 研究結果および考察 ; 図1は、全5年間の応募写真全358件の分布状況を示し、表2, 3は、これら応募写真の「主対象」より地域景観資源を体系的に整理したものである。以降はこれらをもとに考察する。

(1) 応募写真の分布特性からみる利用実態 ; 図1より、応募写真全358件の撮影場所をGISで分析した結果、

撮影地の分布は「①八千代台駅」と、そこから伸びる「②エポラ通り」の東西方向に強く集中するとともに、「③京成本線」沿線沿いの南北方向にも広く分布する傾向がみられた。これは、住民が評価する地域景観資源の多くが、通勤・通学といった日常的な生活動線上に存在することを示唆している。一方で、生活動線から外れた「④八千代台近隣公園」や「⑤八千代台西市民の森」にも撮影地の集積が見られた。これは、公園内の「恐竜のオブジェ」や「⑥諏訪神社」といった象徴的な施設が撮影対象になっており、人々を惹きつける目的地型の地域景観資源であることを示していよう。

以上から、八千代台地区では生活動線を中心に地域景観資源が分布している実態が明らかとなった。

(2) 写真分析からみる地域景観資源の内容 ; 本項では「主対象」21要素を6項目(空模様, 自然, 市街地, 動物物, 社会基盤, 文化・教育施設)に分類し、中でも多く見られた3項目(空模様, 自然, 市街地)の特徴について以下の通り整理した。

1) ベッドタウンを彩る「空模様」(97件) ; 表2より、「空模様(97件)」が最も多くみられ、中でも半数以上を「夕景(54件)」が占めた点は特筆すべきである。その特徴として、「八千代台東4丁目の夕焼け(写真1)」

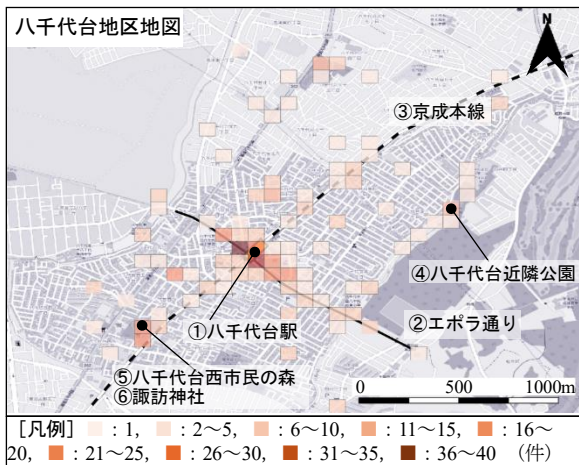


図1 全5回にわたる応募写真の分布状況 [筆者作成]

表1 調査概要

項目	概要
調査期間	2021年7月22日(木)~2025年7月31日(木)
調査対象	千葉県八千代市八千代台地域で開催された5年間(2020~2025年)のフォトコンテスト ¹⁾ 応募写真全358件を対象 (第1回:44件, 第2回:50件, 第3回:78件, 第4回:90件, 第5回:96件)
募集テーマ	八千代台の時代と風景を残そう ~写真で彩り八千代台地域の東西をつなぐ~
調査内容	・対象写真の撮影地の分布状況 ・全写真の撮影地点の位置情報をGIS(地理情報システム)上に入力し,100mメッシュ単位で集計することで,撮影が集中するエリアを可視化し空間的な利用実態を分析(図1). ・対象写真の主対象(夕景,公園の花・樹木,街並み,駅・電車など)の季節や撮影距離から地域景観資源を導出. ・主対象を20の要素に分類し,それらを「空模様」「自然」「市街地」「動物物」「社会基盤」「文化・教育施設」の6つの大項目に整理することで,住民が価値を見出す地域景観資源の内容を定量的に把握.

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち 3: 日大理工・院(前)・まち

に代表されるように、「夏(63件)」に「遠景(48件)」で撮影される傾向がみられた。また、「夕景(54件)」については、「ゆうひのおっかさん(写真2)」に代表されるように、「中景(45件)」での撮影も多く、夕陽を背景に住宅や街並みのシルエットを収めた構図が好まれている。一方で、「青空(17件)」や「朝焼け(11件)」といった他の空模様も一定数みられ、晴れ渡る空の爽快さや一日の日常生活の始まりを告げる光景も地域住民に評価されていることが確認できる。

以上のことから、全体を通して、当地区のスカイラインの低さや高層建築物の少なさに起因する「空の広がり」が景観的に高く評価されていることが明らかとなった。とくに「夕景」は、ベッドタウンとしての特性上、通勤・通学の帰路に住民を迎える象徴的な風景として、強く心に残っていると推察される。

2) 日常の中の「自然」(85件) ; 表2より、次いで多くみられた「自然(85件)」の内訳をみると、「公園内の花・樹木(57件)」と「沿道の花・樹木(28件)」で占めている。その特徴として、「優しさに見守られて(写真3)」に代表されるように、「夏(35件)」または「春(24件)」に「近景(51件)」で撮影される傾向がみられる。また、これらの対象は、大規模な自然公園や観光的な景勝地ではなく、住宅街の街角や道路沿いの植え込み、生垣といった身近な生活空間に位置している。

以上のことから、当地区は大規模な自然公園に依存するのではなく、街角や生垣といった日常生活の延長にある小規模で身近な自然を享受しながら、季節の移ろいが愛でられる地域であることが明らかとなった。

3) 愛着のある「市街地」(84件) ; 表2より、3番目に多くみられた「市街地(84件)」では、「街並み(56件)」や「公園(遊具)(15件)」など、地域特有の施設や景観が含まれていた。さらに、商業施設「ユアエルム(7件)」がみられ、買い物や日常的な交流の場として地域住民の生活に深く根付いている様子がうかがえる。その特徴として、「猫目線の八千代台_West(写真4)」に代表されるように、「夏(41件)」に「中景(52件)」で撮影される傾向がみられた。

以上のことから、地域住民は日常的に目にする風景そのものに愛着や価値を見出していることが示されている。すなわち、生活動線上の街並みや公園といった身近な風景に加え、「ユアエルム」のような日常的に利用する商業施設が、住民にとって重要な地域景観資源として認識されていることが明らかとなった。

4. まとめ ; 本稿は「八千代台フォトコンテスト」の分析を通じ、近郊都市・八千代台の地域景観資源が、

特別な名所ではなく、①生活動線上の風景、②身近な自然、③帰路を彩る夕景といった、住民の日常生活に根差した要素であることを明らかにした。この知見は、「特徴を見出しにくい普通のまち」の地域再生が、ありふれた日常景観に潜む価値を再発見し、保全・活用していくことの重要性を示唆している。

謝辞

本研究において、ご協力いただいた「八千代台まちづくり合同会社」の皆様には厚く御礼申し上げます。

参考文献

1)八千代台フォトコンテスト : <https://photocontest.yachiyodai-machi-llc.com/2024-2/>(最終閲覧日:2025.9.25)

表2 応募作品の分析 [筆者作成] (単位:件)

構成要素 (事象)	季節					撮影距離			合計件数	
	春	夏	秋	冬	不明	近景	中景	遠景		
空模様 (97件)	夕景	4	33	6	9	2	0	24	30	54
	青空	1	12	1	1	2	3	5	9	17
	朝焼け	0	6	0	5	0	0	8	3	11
	夜空	0	5	0	0	0	1	4	0	5
	虹	0	3	0	0	1	0	3	1	4
	曇り空	0	4	0	0	0	0	1	3	4
	雪	2	0	0	0	0	0	0	2	2
小計	7	63	7	15	5	4	45	48	97	
自然 (85件)	公園の花・樹木	15	24	5	5	8	29	28	0	57
	沿道の花・樹木	9	11	0	2	6	22	6	0	28
	小計	24	35	5	7	14	51	34	0	85
市街地 (84件)	街並み	5	29	6	1	15	16	36	4	56
	公園(遊具)	3	7	0	1	4	6	9	0	15
	ユアエルム	0	3	2	0	2	2	5	0	7
	公園(オブジェ)	1	2	0	0	3	4	2	0	6
小計	9	41	8	2	24	28	52	4	84	
動物物 (40件)	生物	4	9	3	1	4	19	2	0	21
	人物	3	9	3	0	1	0	13	3	16
	落下傘	1	0	1	0	1	0	1	2	3
小計	8	18	7	1	6	19	16	5	40	
社会基盤 (26件)	駅・電車	4	8	1	3	3	10	9	0	19
	道路・歩道橋	0	4	0	0	3	3	4	0	7
	小計	4	12	1	3	6	13	13	0	26
文化・教育施設 (13件)	諏訪神社	2	4	0	2	2	7	3	0	10
	学校	0	3	0	0	0	0	3	0	3
	小計	2	7	0	2	2	7	6	0	13
その他(13件)	1	4	5	1	2	9	4	0	13	
合計	55	180	33	31	59	131	170	57	358	

[凡例] ■ : 本文記載事項, 春: 3月~5月, 夏: 6月~8月, 秋: 9月~11月, 冬: 12月~2月, 近景: ~135m, 中景: 136m~1200m, 遠景: 1201m~



写真1 八千代台東4丁目の夕焼け¹⁾

写真2 ゆうひのおっかさん¹⁾



写真3 優しさに見守られて¹⁾

写真4 猫目線の八千代台 West¹⁾